

授業改善等に関する報告書（2020年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Learning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を探っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（後期）食生活科学科 健康栄養専攻】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
食品加工学実習	守田 和弘	実習おつかれさまでした。総合的な満足度が全体平均より極めて高いことから、満足いただけたものと思います。
ライフステージ栄養学b	於保 祐子	Zoomでの授業でしたので、授業資料と要点まとめのプリントをマナバでも配布して、WEB視聴と机上のノートタイクを併用する事で集中して学修できるように工夫しました。授業録画をGoogle Driveにアップしてオンデマンド型受講も可能としました。これらは復習にも使っていただけて学修が深まつたようで良かったです。これからも更に栄養学について力をつけてゆきましょう。
調理学	数野 千恵子	オンライン授業であったため、資料がわかりやすいかが心配でしたが高評価であったことにはホッとしています。しかし、授業の理解度が60~70%という学生が約半数おり、反省すべきところです。次年度は理解度のチェックなどに工夫をして、取り組んでいければと思います。
食品衛生学a	白尾 美佳	オンラインの授業でしたが、食品の安全安心について関心をもっていただけたでしょうか。栄養士にとって食の安全安心は大切ですので継続して勉強してください。
微生物学	守田 和弘	新型コロナウイルスの影響によりオンライン型の授業となりましたが、総合的な満足度は全体平均より高いことから、概ね満足して学習いただけたものと思います。
ライフステージと食育	白尾 美佳	皆さん方の、食育教材はすばらしかったです。また、食育を実施する際に作ってみてください。
ライフステージ栄養学実習	白尾 美佳	各ライフステージの栄養と食事を理解していただけて良かったと思います。今後の仕事ならびに人生の中で生かしてください。
食のリスク管理	山崎 壮	例年10名程度の履修者と対面授業を行っていましたが、今年度は20余名の履修者でのオンライン授業だったので、勝手がわからず、履修者の皆さんに不満があったと推測しています。ご容赦ください。 この授業では、教科書の定型的知識を学ぶのではなく、今の社会で問題になっている食の問題を取り上げました。私の目で見て信頼できると判断した情報源を紹介することで、履修者の皆さんにさらに自分で調べてもらい、自分の考えをまとめてもらいました。最後の2回の授業では自分でテーマを探して調査結果を発表してもらいました。授業で取り上げたテーマは、いずれも一つの正解が得られる様なテーマではありませんでしたが、皆さんによく考えて、それに答えてくれました。オンライン授業でも、「打てば響く鐘」の学生さんでした。 この授業を通して履修者に(再?)認識してほしかったことが、社会にあふれる「にせ科学」にまとわざれない、科学的根拠に基づいて考える態度、および「賢い消費者」になろうとする態度なのですが、皆さんはそれを修得できた(できていた)と感じました。
食品学b	白尾 美佳	皆さん方の調査発表は、大変良かったと思います。なお、本科目をさらに学びたいと興味をもって思っていただいてよかったです。
食品加工学b	守田 和弘	新型コロナウイルスの影響によりオンライン型の授業となりましたが、総合的な満足度は全体平均より高いことから、概ね満足して学習いただけたものと思います。
食品衛生学b	白尾 美佳	皆さん方の発表は自主的に工夫されていてよかったです。今後は、皆さん方の発言の機会も多く撰っていきたいと思います。
基礎調理	数野 千恵子	すべての項目で平均点を上回り、総合的に判断して授業に満足していること、自身の成長を実感できることは、うれしい結果です。コロナのため、授業時間内をすべて実習に充てることができなかったにもかかわらず、高評価を得たことを参考に、次年度以降も、自己の成長を実感できるような授業を工夫していきたいと思います。
食品衛生学実験	井部 明広	対面で授業できたので、実際に手を動かし考えてくれたのは良かったと思っています。 ほとんどの人が理解してくれ、レポートもきちんと出してくれました。レポートを書くことで理解をさらに深め、考える力が身につきます。そしてなんでも疑問を持って取り組んでください。